



人生18度目の共通テスト受けます！

大学入学共通テストの出願時期を迎えました。3年次生の皆さんは先日のLHRでの「共通テスト説明会」を踏まえ、受験料の振り込みを済ませて志願票の提出が終わっていると思います。これを書くと「いよいよ受験が近づいてきたな」と感じますね。



↑ H19～R5 の受験票です ↑

以前の年次だよりにも書いたとおり、私は甲府西高校に赴任してきてから受験生と一緒に共通テスト（センター試験）を受験してきました。これまで受験してきた受験票を並べてみたら平成19年を最初に令和5年（平成20年だけ未受験）までで16枚を数えました。それに自分が高校3年時に受験した平成4年と、今回の令和6年を合わせると18回目の受験となります。

センター試験を受験したきっかけは、西高に異動した当時、私は教員生活が10年経ち、「教壇に立って生徒の前で偉そうに数学を教えているけど、大学入試本番で本当に自分は解けるのか？」と思ったことがありました。それに加えて「受験生の気持ちと緊張感をいつまでも忘れたくない」ということでした。

受験型は「2教科以下」という受験方法があったので、数学と合わせて国語や化学、最近では英語を受験し、ここ2年間は共テ英語対策として3年次生と一緒にWordBox(英単語)の勉強に励んできました。

受験会場はその年によって違いますが、山梨大学や山梨県立大学、山梨学院大学でしたが、研修で長野県に2年間住んでいた時は信州大学でも受験をしました。受験型が異なるので、西高生とはほとんど教室が一緒にはなりませんでしたが、試験の休み時間に受験会場で会う西高生には「ホントに受験してるんですね！」なんて声をかけられたこともありました。また、受験会場では他校の受験生にジロジロ見られることはもはや普通で、当時西高で担当していた生徒には「お金払ってまで受験するなんてキモイ…」なんて言われたこともありましたが、今年も懲りずに受験します！

そんな共通テスト(センター試験)ヘビーユーザーの私が皆さんに共通テストのアドバイスです。

- ①共通テスト模試には本番だと思って準備万端で臨む(本番の時の緊張緩和に役立ちます)
- ②共通テスト本番前日に「これだけ勉強して出来なかったらしょうがない」と思える状態まで各教科準備をする

私の共通テスト受験は今年が最後と思っています。最後は「国・地歴・数・理2・英」で受けます。理系の人たちは受験会場での席になるかもしれませんね？！

3年次主任 平岩岳実

～10月行事予定～ 10月は模擬試験のヤマ場！振り返りを忘れずに！

| 日 | 曜日 | A/B | 予 定 | 日 | 曜日 | A/B | 予 定 |
|----|----|-----|-------------------------|----|----|-----|------------------------|
| 1 | 日 | | | 16 | 月 | B | きずなの日 |
| 2 | 月 | B | 後期始業式・報告会 自転車ステッカー一点検週間 | 17 | 火 | B | |
| 3 | 火 | B | | 18 | 水 | B | |
| 4 | 水 | B | | 19 | 木 | B | 献血 |
| 5 | 木 | 行事 | 創立120周年記念式典 | 20 | 金 | B | 全統共通テスト模試 第2回PTA理事会 |
| 6 | 金 | B | 共催記述模試 ウォーキング事前指導 | 21 | 土 | | 全統共通テスト模試 |
| 7 | 土 | | 共催記述模試 | 22 | 日 | | |
| 8 | 日 | | | 23 | 月 | A | 生徒総会 |
| 9 | 月 | | スポーツの日 | 24 | 火 | A | |
| 10 | 火 | A | | 25 | 水 | A | |
| 11 | 水 | 行事 | 第27回健康の森ウォーキング大会 | 26 | 木 | B | |
| 12 | 木 | A | 生徒協議会 | 27 | 金 | B | 共催共通テスト模試 第2回学校評議員会 |
| 13 | 金 | A | 全統記述模試 (ウォーキング大会予備日) | 28 | 土 | | 共催共通テスト模試 |
| 14 | 土 | | 全統記述模試 | 29 | 日 | | |
| 15 | 日 | | | 30 | 月 | B | きずなの日 第2回生活実態調査 IB最終試験 |
| | | | | 31 | 火 | B | IB最終試験 |

◎先生方からの寄稿 今月は2組担任 横内裕三 先生 と 副担任 名取美和子 先生 です。

バスケット男子日本代表 パリ五輪出場権獲得！ 横内 裕三

8月25日から始まったバスケットW杯でアジア最高順位に与えられるパリ五輪への切符を手にした。パリ五輪には12チームしか出場権がなく、そのうちの1枠を手にしたことは価値のあるものである。(ちなみに今回のW杯は32チーム出場している)ただ、まだまだ「上には上がいる」ことを改めて実感させられる大会でもあった。今後その「上」と対等に試合をして勝つという目標になっていくと思うが、それにはまず振り返りが必要である。(今回のW杯の日本代表の目標はパリ五輪出場権を獲得するでした。素晴らしい!)日本バスケットボール協会では、今回のような国際大会の後には必ず「テクニカルレポート」という所謂「振り返りレポート」を作成し、HPに掲載して誰もが閲覧できるようになっている。それを日本で様々なカテゴリーで指導しているコーチが参考にして指導の場で選手に伝える。このような体系的な組織づくりも今回の結果に少なからず反映されていると考える。この積み重ねが今後、日本がパリ五輪で勝つことやNBA選手を多く輩出することに繋がっていくだろう。ちょうど30年前、私が小学校5年生の時にサッカー日本代表はドーハの悲劇を経験した。アジアを突破することさえ苦しい状況だった日本代表は、今ではW杯でドイツやスペインに勝てるチームへと変貌している。どんな状況でも諦めず、前を向き続けて毎日、毎月、毎年の正しい積み重ねが歴史を変えていくのだろう。



いよいよ…秋！ 名取 美和子

天高く馬肥ゆる秋です。私は普段から食べるのが大好きですが、涼しくなると、何でも美味しくなっていて困りますね♪相変わらず残暑は厳しいですが、空の色はちゃんと秋の色になっていて、着実に季節が移り変わっていくのを感じる今日この頃です。

さて、受験の天王山である夏休みが過ぎ、10月は毎週末模擬試験、しかも記述模試はこれがラストチャンス…。やるぞ！と士気が上がりつつも、焦燥感に駆られる…とうとうそんな時期が到来しました。もうすでに受験本番を迎えている人もいますね。先日の年次集会でも、そんな皆を元気づけるために、中島先生から先輩達からのアドバイスが紹介されました。実は、私も受験を戦い抜いた先輩達から後輩達へと、様々なメッセージを託されているのですが、きっとこの後皆さんに伝える機会があまりないと思うので、そっすこに忍ばせておきます。(※これは前期入試終了直後の先輩の気づきです。参考までに)



- * 受験本番は自分がやり切ったと思える科目はあまり緊張しなかった。逆に不安が残る科目では予想以上に緊張が大きかった。
- * 色んなことを我慢して、繰り返して、耐えて、その状況を最後に楽しめた人が勝つ。
- * 壁にあたった時にどうやって切り替えるか、どう行動するかが大切。
- * 努力したからと言って必ずしも結果が伴うとは限らない。でも、努力しなければ土俵にもあがることできない。全力を尽くしたことに、ムダはない。
- * 意外なところで、得た知識が突然役に立つ。学生生活、気がつかないうちに日々ずっと学び続けていたんだなぁと気がついた。

いよいよ各教科で入試の問題演習が始まります。「練習は本番のごとく、本番は練習のごとく」緊張感をもって、それぞれの時間を大切にしてください。一緒に頑張りましょう。